



第3回市民環境講座

身近に取り組めることから環境のことを考えてみませんか。

題目 幸手市のごみ処理(環境)について
日時 3月12日(水)午後1時30分～3時30分
※午後1時15分から受付開始。

場所 ひばりヶ丘桜泉園

定員 30人(申込み順)

申込み 2月12日(水)午前8時30分から28日(金)午後5時までに環境課へ電話またはFAX(住所、参加者氏名、電話番号、年齢を記入)

問合せ 環境課 ☎(48)0331・FAX(48)2226

第46回幸手市手をつなぐ子らの交歓会

日時 2月14日(金)午前9時～11時40分

場所 幸手市北公民館

内容 特別支援学級の児童・生徒による、合奏やダンスなどの発表

問合せ 学校教育課 内線635

公民館クラブ活動 参観・体験週間

▼さがつて①②③④をつなぐ

各公民館で活動しているクラブを参観・体験できます。興味があるクラブに参加して活動してみませんか。

※参観・体験できないクラブがあります。

日時 2月28日(金)から3月14日(金)までの午前9時～午後9時

※3月2日(日)、9日(日)は午後5時まで。

3月3日(月)休館日を除く。

場所 市内各公民館

※参観・体験可能なクラブの活動日に来館してください。参観・体験できるクラブの詳細はQRコードまたは各公民館へお問い合わせください。

問合せ 中央公民館 ☎(42)5156

西公民館 ☎(43)0881

北公民館 ☎(42)6221

南公民館 ☎(43)6053

東公民館 ☎(48)0013



B&G海洋センターイベント

▼親子野球体験教室

プロ野球OB(現埼玉西武ライオンズアカデミーコーチ)によるイベントです。

日時 3月8日(土)午前10時～正午

場所 ひばりヶ丘球場

※雨天時はB&G海洋センター。

対象 野球未経験者で市内在住の年長から小学3年生とその保護者

持ち物 タオル、飲み物

定員 20組40人(申込み順)

申込み 2月28日(金)までに窓口

▼①ストレッチヨガ教室

日時 2月7日、14日、21日、28日金曜日の午前10時～10時50分

▼②骨盤調整ヨガ教室

日時 2月7日、14日、21日、28日金曜日の午前11時～11時50分

①②共通

持ち物 屋内用シューズ、タオル、飲み物、

ヨガマットまたはバスタオル

定員 10人(申込み順)

参加費 1回500円(保険代含む)

対象 18歳以上

申込み 電話または窓口(当日予約可)

問合せ B&G海洋センター ☎(48)0220

空手体験教室

日時 3月16日(日)、23日(日)午前10時～11時

※1日だけの参加可。

場所 幸手市武道館

対象 4歳以上

持ち物 タオル、飲み物

参加費 500円(保険代)

申込み 3月7日(金)までに参加申込書を

武道館窓口またはメール

※メールの場合は、氏名、住所、連絡先、生年月日、学校名を記載してください。

問合せ 幸手市空手道連盟事務局 ☎Satte, karate@ahoo.co.jp

春日部地域合同就職面接会

一般求職者を対象とした「春日部地域合同就職面接会」を開催いたします。

日時 2月6日(木)午後1時～3時30分

※受付時間は午後0時30分～3時。

場所 ふれあいキューブ1階多目的ホール(春日部市南1-1-7)

問合せ ハローワーク春日部 ☎048(736)7611(音声案内41番)

後日児童館より返信メールが届きます。入力いただいた住所に制作キットを郵送します。

※2月26日(水)開館時間内フォトブースにて写真撮影・身体計測ができます。

問合せ 児童館 ☎(43)5521

子育て支援センター事業 「親子プレイルームイベント」

場所/ウェルス幸手 対象/乳幼児と保護者 問合せ/こども支援課 ☎(42)8454・FAX(42)2130

	① てととサロン	② 親子リトミック	③ 親子ひろば	④ 身体計測の日
日時	2月13日(木)	2月19日(水)	2月27日(木) 28日(金)	3月7日(金) 11日(火)
	午前10時30分～11時		午前中	随時
場所	親子プレイルーム			
内容	手遊び、手袋シアター	リズム遊び	親子で簡単な製作	計測・手形足形スタンプ

守り伝えよう！ みんなの文化財

市指定文化財

伝 彰義隊士横山光造所用陣笠

令和6年2月に市指定文化財に指定されたこの陣笠は、柳剛流剣士で彰義隊士の横山光造の所用品として、大字戸島の横山家に伝えられました。

鍔が反り返った形から「端反立」ともいわれ、材質は革(練革で、牛革を火であぶり、または膠の水に浸して、うち固めたものです。表面は、黒色の漆が塗られ、正面には「丸に九枚笹」の家紋があります。

この陣笠の大きな特徴は、鍔の裏側に鉋止めされた鉄製の輪です。陣笠に、こうした部品が取り付けられていることは珍しく、戦場での防御性を高めたと考えられます。

横山光造は、安戸村二本木(現杉戸町本島)に生まれ、柳剛流剣士の松田源吾に師事し、後に越の岡田十内の門人の四天王に数えられた剣客です。自らも、横山派柳剛流を率い幸手宿の住人を門弟とします。

慶応4年(1868)5月に勃発した上野戦争では、「加藤光造」と名乗り、彰義隊11番隊組頭として戦い、明治2年(1869)5月に終結した箱館戦争にも参加しました。

その後、戸島に住み始めた横山光造は、新井愛太郎(八代村 初代村長・埼玉県議会 副議長)の庇護のもと、柳剛流剣士として地元の人たちに剣道を教えながら暮らし、明治32年(1899)3月24日に81歳の生涯を閉じます。その生涯にふさわしく、戒名は「柳剛院彰義居士」です。

この陣笠は、江戸から明治へと移り変わる戊辰戦争期という重要な歴史的局面において、剣術という技量をもって混迷する時代を駆け抜けた横山光造の人物史を物語る貴重な歴史資料です。



横山光造の肖像画と陣笠
(展示はしていません)



問合せ 郷土資料館 ☎・FAX(47)2521